

都市再生整備計画(第5回変更)

伊勢原駅周辺地区

神奈川県 伊勢原市

平成21年3月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	神奈川県	市町村名	伊勢原市	地区名	伊勢原駅周辺地区	面積	70 ha
計画期間	平成 16 年度 ~ 平成 24 年度	交付期間	平成 16 年度 ~ 平成 20 年度				

目標 (身近な中心市街地として、ゆとりと優しさに配慮した交通環境の改善と賑わいの再生) ・伊勢原駅周辺地区の交通環境の整備改善を図るとともに、文化・生活機能が集まる行政センター地区との有機的な連携を図り、「誰もが身近に感じられ」「人が集まり回遊する」伊勢原の玄関としてふさわしい、ゆとりと賑わいのあるまちづくりを進める。 【目標1】ゆとりと優しさのある玄関口へのステップアップ - - 駅周辺の歩行者連携施設について、ゆとりと優しさに配慮した快適空間の整備を進めるとともに、周辺商店会などの取組と合わせて、歩行者回遊量の向上による南北往来者の2割増加を目指します。 - - 【目標2】駅周辺地区の道路交通環境の改善によるアクセシビリティの向上 - - 大型商業施設が集積する駅南口地区の街路整備を着実に進め、駅周辺地区の道路交通環境の適正化を計画的に促進し、駅や商業施設など目的ごとのアクセシビリティの向上を目指します。 - - 【目標3】バリアフリー特定経路の着実な整備推進と、地域産品など地域特性を活かした賑わいの再生 - - バリアフリー特定経路と自然環境を活かした散策ルートの構築により、駅周辺地区と行政センター地区を核とする歩行者回遊基盤を整備し、地域特性を活かした中心市街地の活性化を目指します。 - -
--

目標設定の根拠 まちづくりの経緯及び現状 ・当地区は、本市の中心拠点として、伊勢原の玄関にふさわしい早期の基盤整備や市街地機能の向上が期待される地区である。平成12年度に実施された市民意識調査(概ね5年ごとに実施)においても、駅周辺整備に対する必要性や期待度がどの項目よりも高く、早期整備が熟望されている状況である。 ・中心市街地としての地元の取組は、昭和30年代の土地区画整理事業に始まり、その後、時代にあつたまちづくりを進めるため、駅南北それぞれに設置された地元まちづくり研究会活動や福祉団体(NPO)によるまち点検、商店会等のまちづくりに関する取組が継続的に続けられている状況である。 ・これらの取組により、大型商業施設が立地する駅南口地区(約10ha)では、平成2年に地区計画が決定され、平成11年には都市計画道路牛塚下原線の事業着手に至り、地区内の交通環境改善による街なか活性化に資するため当該街路の早期完成が求められているところである。 ・一方、駅北口地区(約11ha)では、第一種市街地再開発事業による基盤整備や市街地機能の向上の実現を目指し、長年に渡り組合を中心とした懸命の取組みを進めてきたが、事業化をめぐる環境等の変化によりその実現が困難となった。しかしながら、駅周辺の交通結節点や街路等の都市基盤整備水準が低く、新たな事業手法による早期の駅前整備が強く求められている。 ・また、現在の駅施設利用者が約6万人/日、本市のシンボルである大山などの観光客は120万人/年に及ぶが、中心市街地の都市基盤の未整備が十分な往来環境の確保を妨げ、まちの活性化を停滞させている状況である。
--

課題 交通結節点における都市基盤の整備改善による交流の活性化 ・駅周辺地区の都市活動の基盤となる施設について、まちづくりを支える各方面から、時代に即した早期の施設整備が求められており、また、策定が進められているバリアフリー基本構想の実現を図るため、目標年次に向けた計画的な事業の着実な進捗が必要である。さらには、地域資源を生かした身近な中心市街地としての魅力を高めるため、食の安全・安心を高める農産物の直売機能が中心地にある立地性を生かし、自然と親しむ散策路等との連携・機能強化を図り、中心市街地の回遊性を高めることが必要である。 ・これらの事業の推進にあたっては、伊勢原の玄関としてふさわしい、地域特性を生かしたゆとりと優しさのある施設づくりを進め、駅周辺の交流促進や地域資源の活用により身近な中心市街地として、市内外の沢山の人が集う、活力にあふれるまちづくりを進める必要がある。 市民が愛着をもって誇れるふるさと伊勢原の顔づくり ・市民や来訪者が伊勢原の玄関に降り立って、伊勢原らしさを感じるため、喫緊の課題である都市基盤施設整備を契機として、民間活動の誘発効果を高め、公民の協働と役割分担による秩序ある高度利用を図り、中心市街地の活性化とまちの成熟を段階的に進めていくことが必要である。
--

将来ビジョン(中長期) 伊勢原市新総合計画(平成15年~平成24年): (駅周辺の拠点づくり)本市の中心拠点として、伊勢原駅周辺の都市基盤整備と商業活動の活性化を推進し、魅力ある拠点づくりを進める。 ・実現化施策としては、南口で進められている都市計画道路の整備を引き続き推進するとともに、駅南北の分断の解消と通行の円滑化を図る。 ・さらに、これらの整備事業を契機として、現在、関係権利者の合意形成を進めている伊勢原駅北口整備事業(関連事業)を推進し、幹線街路・駅前広場及び沿道街区の一体的な整備を図ることにより、市の玄関口にふさわしい市街地形成を進める。

目標を定量化する指標							
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
まち中南北往来者数の増加	人 / 14h	地区内の鉄道南北を往来する歩行者交通量の実測値	中心市街地の歩行者回遊量の向上を目指し、駅南北往来者数の2割増加による街なかの賑わい再生効果	7,800	平成15年度	9,300	平成20年度
南口アクセス時間の短縮と目的交通の円滑化	回	駅や商業施設へ向かうアクセス道路の交差点通過に要する信号待ち回数	街路整備に伴い駅前や周辺商業施設など目的に合った交通処理の適正化を図り、中心市街地のアクセシビリティを高める効果	4	平成15年度	1	平成20年度
農産物直売所等の来場者数	人 / 年	行政センター地区周辺の地域産品直売所等の年間来場者数	地区特性を活かした回遊基盤により、直売所等への来場者数の3割増加を目指し、観光・生活に密着した中心市街地の賑わい再生効果	160,000	平成14年度	210,000	平成20年度
歩行者のバリア解消率	%	地区内におけるバリアフリー基本構想特定経路の整備率	優しさに配慮した駅周辺の交通環境の改善を図り、合わせて修景施設の整備を進め、ゆとりある歩行空間への整備・改善効果	25	平成15年度	80	平成20年度

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>【目標1】ゆとりと優しさのある玄関口へのステップアップに資する事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中心市街地の南北分断を解消し、南北往来者の利便性の向上やまち中の賑わいを高める快適空間の着実な整備 ・自由通路整備事業に伴う支障移転店舗について、鉄道事業者と協調し、通路沿線への配置による自由通路の賑わいと閉鎖空間の解消 ・中心市街地の賑わい再生に資する、地域特性を活かしたまち中ストリート整備の推進(沿道緑化、観光案内表示、修景施設等) 	<p>【基幹事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 伊勢原駅自由通路整備事業(市) 市道改良事業(市) 歩行者回遊ストリート形成事業(ポケット緑地、修景施設など)(市) 市164号線整備事業 <p>【提案事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 伊勢原駅自由通路整備事業に伴う支障移設工事 <p>【関連事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> * 鉄道施設バリアフリー化整備事業(民間)、商店会イベントなど
<p>【目標2】駅周辺地区の道路交通環境の改善によるアクセシビリティの向上に資する事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区内交通体系の骨格を形成する道路網の着実な整備促進及び目的ごとの交通処理の適正化の推進 ・都市景観に配慮した電線類の地中化整備の促進 ・北口駅前の顔として民間投資誘発効果を高める街路、駅前広場及び周辺街区の整備促進 	<p>【基幹事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 都)牛塚下原線整備事業・電線類地中化事業(市) 市道71号線交差点改良事業(市) 市道175号線整備事業(市) 市道183号線整備事業(市) 市道186号線整備事業(市) <p>【提案事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 複合駐車場整備計画策定調査(市) <p>【関連事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 伊勢原駅北口整備事業(市) (街路・駅前広場・ペDESTリアンデッキ・沿道街区整備・電線類地中化など)
<p>【目標3】バリアフリー特定経路の着実な整備推進と、地域特産品など地域特性を活かした賑わいの再生に資する事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バリアフリーに配慮した安全で快適な歩行空間の一体的な整備の推進 ・地域・自然資源を生かしたランプリングストリートの形成(中心市街地～果樹園・地域資源～直売所の有機的な連携、観光案内表示など) 	<p>【基幹事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> バリアフリー特定経路の整備(市) 都)田中笠窪線整備事業(市) 市道318号線整備事業 <p>【関連事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> * 鉄道施設バリアフリー化整備事業(民間) * 農産物直売所(JA)など
<p>その他</p> <p>事業終了後の継続的なまちづくり活動</p> <p>当地域では、福祉団体が中心となり、10年以上にわたり延べ1,000人を超える市民が参加した「市民・福祉のまちづくり点検」が行われており、「思いやり・ふれあいまちづくりニュース」の発行をしている。また、市民活動の持続・継続が評価され、平成15年度バリアフリー化推進功労者表彰「内閣官房長官賞」、第15回神奈川地域社会事業賞を受賞している。今後もより良いまちづくりに向けた点検活動が継続的に実施される。</p> <p>また、計画区域内の地区では、伊勢原駅北口周辺整備協議会による、効率的な土地利用の研究が継続して行われる。</p> <p>交付期間中の計画管理について</p> <p>交付期間中に発生する問題等の処理や計画の改善に対応し、交付期間中の円滑な事業実施を進めるとともに、確実な効果の実現を図るため、庁内に横断的な研究・調整組織を設置する予定である。また、事業の進捗や成果を市広報紙により、適時、市民に周知する。</p> <p>都市再生整備計画の策定</p> <p>都市再生整備計画の策定にあたっては、駅北口地区(約11ha)において、第一種市街地再開発事業による基盤整備や市街地機能の向上の実現を目指し、長年に渡る組合を中心とした懸命の取組み等を踏まえ、過年度に実施した調査に基づく県市による研究会(4回実施)での検討結果も含め、庁内組織間の横断的な検討を行い計画を作成した。</p> <p>商店街における民間活力の創出及びイベント</p> <p>駅北口の一部の商店街が一団となり地域活力創出のために、通りの名称をIT等の利用による、一般公募を行い、「竜神通り」と名付け、年2回、「竜神通り」の活性化のためのイベントを実施している。</p>	

交付対象事業等一覧表

交付対象事業費	2,694	交付限度額	1,077.5	国費率	0.4
---------	-------	-------	---------	-----	-----

(金額の単位は百万円)

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度					
道路		都)牛塚下原線整備事業	伊勢原市	直	L=320m	平成11年度	平成22年度	平成17年度	平成20年度	2,406	564	564	0	564
道路		都)田中笠窪線整備事業	伊勢原市	直	L=400m	平成14年度	平成24年度	平成16年度	平成20年度	2,455	594	594	0	594
道路		市道71号線整備事業	伊勢原市	直	L=20m	平成18年度	平成24年度	平成18年度	平成20年度	225	155	155	0	155
道路		市道318号線整備事業	伊勢原市	直	L=150m	平成18年度	平成24年度	平成18年度	平成20年度	88	52	52	0	52
道路		市道175号線整備事業	伊勢原市	直	L=215m	平成19年度	平成20年度	平成19年度	平成20年度	18	18	18	0	18
道路		市道183号線整備事業	伊勢原市	直	L=115m	平成19年度	平成20年度	平成19年度	平成20年度	9	9	9	0	9
道路		市道186号線整備事業	伊勢原市	直	L=179m	平成19年度	平成20年度	平成19年度	平成20年度	21	21	21	0	21
道路		市道164号線整備事業	伊勢原市	直	L=380m	平成20年度	平成20年度	平成20年度	平成20年度	27	27	27	0	27
公園														
河川														
下水道														
駐車場有効利用システム		-			-									
地域生活基盤施設		-	伊勢原市	直	-	平成20年度	平成20年度	平成20年度	平成20年度	10	10	10	0	10
高質空間形成施設		-	伊勢原市	直	-	平成17年度	平成24年度	平成17年度	平成20年度	92	64	64	0	64
高次都市施設		-			-									
既存建造物活用事業		-			-									
都市再生交通拠点整備事業		伊勢原駅自由通路整備事業	伊勢原市	直	L=105m	平成16年度	平成20年度	平成16年度	平成20年度	576	576	576	0	576
土地区画整理事業														
市街地再開発事業														
住宅街区整備事業														
地区再開発事業														
人にやさしいまちづくり事業														
優良建築物等整備事業														
住宅市街地総合整備事業	拠点開発型													
	沿道等整備型													
	密集住宅市街地整備型													
	耐震改修促進型													
街なみ環境整備事業														
住宅地区改良事業等														
都心共同住宅供給事業														
公営住宅等整備														
都市再生住宅等整備														
防災街区整備事業														
合計										5,927	2,090	2,090	0	2,090

...A

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度					
地域創造支援事業	支障移設工事	伊勢原駅自由通路整備事業に伴う支障移設工事	伊勢原市	直	A=760㎡	平成18年度	平成20年度	平成18年度	平成20年度	594	594	594	0	594
事業活用調査	複合駐車場整備計画策定調査	-	伊勢原市	直	-	平成16年度	平成16年度	平成16年度	平成16年度	4	4	4	0	4
	事後評価調査	-	伊勢原市	直	-	平成20年度	平成20年度	平成20年度	平成20年度	6	6	6	0	6
まちづくり活動推進事業														
合計										604	604	604	0	604

...B

合計(A+B) 2,694

事業	事業箇所名	事業主体	所管省庁名	規模	(いずれかに)				事業期間		全体事業費
					直轄	補助	地方単独	民間	開始年度	終了年度	
街路	伊勢原駅北口整備事業	伊勢原市	国土交通省	L=300m					平成19年度	平成24年度	6,943
鉄道施設	バリアフリー化整備事業	伊勢原駅	小田急電鉄	E V 4基					平成14年度	平成16年度	221
農産物直売所	整備事業	伊勢原市田中地内	J A I いせはら	直売所1棟					平成14年度	平成14年度	113
竜神通りイベント	竜神通り	民間		2回/年					平成14年度		

